

第4号議案 2016年度事業計画

1. 2016年度春期大会の開催
 - ・ 2016年5月4日(水)～5月8日(日) フィンランド国アールト大学オタニエミ(ヘルシンキ)、エーミル・セーデルクロイツ美術館(ハリアヴァルタ)、ヴァイキングライン船上(トゥルク～ストックホルム)にて開催。
 - ・ ポスターセッション、シンポジウムを予定。

2. 2016年度秋期大会の開催
 - ・ 11月25日(金)理事会、26日(土)大会、27日(日)エキスカージョン。
 - ・ 開催場所:京都市立芸術大学
 - ・ テーマ「歴史に学び、明日につなぐ『美・技・心』仮」
 - ・ 実行委員長:藤本英子理事(京都市立芸術大学)
 - ・ 発表エントリー7月8日(金)
 - ・ 概要集原稿提出締切8月12日(金)

3. 学会誌の発行
 - 第71号:春期大会報告号、2016年9月予定
 - 第72号:秋期大会号、2016年10月末予定
 - 第73号:秋期大会報告号、2017年2月予定

4. 研究委員会
 - ・ 「芸術工学会誌」への論文投稿の受付、審査を行なう。
 - ・ 2016年度芸術工学会奨励賞の推薦を受け付ける。
 - ・ 芸術工学会誌の論文公開機関のJstageへの移行の手続きを引き続き行なう。

5. 企画委員会
 - 2017年度春期大会、2017年度秋期大会の企画をおこなう。

6. 総務委員会
 - ・ 代議員(社員)総会の開催 2016年5月22日(日) グランフロント大阪
 - ・ 理事会の開催
 - ① 2016年5月22日(日) グランフロント大阪
 - ② 2016年11月25日(金) 京都市内
 - ③ 2017年3月末 グランフロント大阪
 - ・ 学会ウェブページ及びメーリングリストの運営

- ・事務局と協力して会員管理及び会員サービスの実施

6. 特設委員会Ⅰ（地域デザイン史）

2015年に取り組んだ各地域デザイン史調査編纂の成果を集約・編集し、今秋には『日本・地域・デザイン史2』を刊行の予定である。また、特定地域デザイン史研究に着手する（石川県地域におけるデザインプロモーションを中心にした深掘り研究）（比較研究への展開も今後検討）。

＊学会予算として出版物買取費用100万円を支出予定。委員会運営・研究経費等は外部資金で対応。

7. 特設委員会Ⅱ（減災と復興のデザイン力）

- ・減災デザイン&プランニング・コンペ2016のプレゼンテーション&審査会を4月16日（土）に人と防災未来センターにて開催する。
- ・4月28日に英国ノッティンガムにあるノッティンガムトレント大学にて開催される「CUMULUS 2016 In this place」にてGENSAI Design Work shopを開催する。
- ・減災デザイン&プランニング・コンペ2017を企画し、秋までに公募を開始する。今年度はCUMULUS及び、CUMULUSでのワークショップ参加者を介しても公募を行い、海外からの参加を積極的に受け入れる。

8. 特設委員会Ⅲ（創造都市ネットワーク）

2016年度は、従来の方針に従って、秋期大会で「創造都市ネットワーク」セッションを開催し、研究発表の後、討論会を行う。討論会の記録が未整備なので、音声記録の文書化を図って、記録に残す作業を行う。

9. 特設委員会Ⅳ（国際交流）

クムルスを通して関係大学等と国際交流を行う。

10. 特設委員会Ⅴ（将来構想）

来年度以降のパネルディスカッション等の開催に向けた準備段階とする。委員会内の企画会議を公開とする等により、昨年度の議論の発展を図る。テーマは未定であるが、例えば、芸術工学一中でも従来のデザイン諸領域の枠を超えて、科学と芸術の融合が問われる現代的諸側面とその歴史的な位置づけについての意見交換などを考えている。